



第32話 ブルガリアから

娘の中学校にブルガリアの生徒が来ることになり、ホームステイを受け入れることになりました。初めはドキドキしましたが、事前にオンラインでご両親と話したり、食べ物の好みを聞いたりもできたのでよかったです。180センチと長身の彼女は、素直でやさしい女の子で、たこ焼きパーティを楽しんだり、大好きな浴衣を着て神社にお参りしたり。あつという間の4日間でしたが、心がぐっと近づき、別れの時は涙がこぼれました。彼女との出会いで、遠かった異国が親しみを感じる国に変わり、

もっとこんな交流が増えれば世界の戦争はなくなるのではという思いにもなりました。



帰国後も時々オンラインで話したり、一緒にマイクラで遊んだり。6時間の時差を感じない距離感です。



おおつかあい・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの保護受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子と暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート[第32号]
発行：2024年10月(2024年9月議会報告)
最新情報を発信しています
Facebook:
・みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
・大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
●みどり岡山ホームページ:
https://midori-okayama.org/

[事務所]
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
[自宅]
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808

大塚愛

県政レポート(2024年10月発行) [第32号]



りんどうの花言葉:勝利、誠実

いっぽ通信

P.02-03 誰もが安心して学べる学校に

- P.01 子どもの支援の現場から、心のケアの充実を
- P.02-03 おもな活動記録から「営農型太陽光発電/まんまリンク」
- P.04 愛ちゃんがゆく! —県議体験記—/日々のうごき(2024年7月~10月)



みなさま、こんにちは。
み 今年夏は夏の暑さが10月まで続くような気候でしたが、いかがお過ごしでしょうか。9月には能登半島が再び豪雨災害に見舞われ、心が痛みますが、異常気象とも言える気候の影響に気をつけながら、体や心の調子を大切に過ごしていければと思います。

10月には各地で秋祭りが行われました。私が住む地区

では、獅子舞や神楽の練習が夏休み明けから始まり、娘たちは楽しそうに練習に通い、当日は二日かけて地区のすべてのお家を一軒一軒まわって、獅子舞や棒使いが演じられました。地域の繋がりが希薄になりつつある現代ですが、昔ながらのお祭りが続き、子どもたちが文化を受け継いでいけることはとても貴重だと感じます。



インターン学生と成徳学校へ。今も夫婦制で生活を共にされ、さまざまな困難を抱える子どもたちを支援されています。

また、袴などの衣装を身につけ真剣に演舞する姿はとても凛々しく、学校の先生が「小学校で見る顔とは違うなあ!」と感心されたこともありました。県議会で、私は子どもや教育に関する委員会に所属していますが、今年も県内外のさまざまな施設に視察に行かせていただ

きました。その中でも印象的だったのは、子どもの心のケアについて。親から虐待を受けた子どもは、心に深い傷を抱えますが、なかには「愛着障害」となって、その後の対人関係が難しくなってしまうこともあります。福祉や教育の現場でも、そのような子どもに向きあい、サポートに尽力されていますが、より専門的なトラウマケアとして、心理の専門家が支援していくことも必要だという声を、



長女は昨年から獅子舞に、次女は笛にチャレンジ。七社八幡宮でも多くの人でにぎわい、子どもも大人も大活躍でした。

複数の施設でお聞きしました。辛い体験を抱える子どもの心が少しでも楽になれる支援を充実していければと思いますし、子どもも、大人も適切な心のサポートが受けられる社会にしていきたいことを望みます。

日々のうごき

- 2024年7月~10月
- 7.4 盆踊り練習 @竹枝小、吉田ダム阻止運動資料展
- 7.5 県内調査(パワーエックス、自由会)
- 7.6 DV防止サポートシステムをつなぐ岡山総会、七曲七夕まつり
- 7.7 みどり岡山総会
- 7.8 こどもみらい光訪問、有機農業について懇談@朝日塾 中等学校
- 7.9 県内調査(誕生寺支援学校)、たけな家おこしプロジェクト総会、能登支援ライブ@吉備中央町
- 7.10 ありがとうファームPARAメッセージフェス
- 7.11 会派視察(和気岡谷高校、和気町オーガニックビレッジ事業)、フラワーデモ
- 7.15~18 ブルガリア中学生ホームステイ受け入れ
- 7.16 DV相談支援の会議、県内調査(平林金属)
- 7.17 常任委員会(環境文化保健子ども福祉)、たけな部@老人福祉センター
- 7.18 日本語教育のお話@山陽学園大学、竹枝小学校150周年実行委員会
- 7.19 みつカフェ @岡山御津高校、省エネ建築セミナー
- 7.20 第23回ユニオンおみやり定期大会

- 7.22 不登校の意見交換会@大元公民館
- 7.23 県立高校再編整備について市町村長との意見交換
- 7.24 PTAプール@竹枝小、みどり岡山会議
- 7.25 北長瀬みんなの遊び場
- 7.26 びあサロン@操山公民館、ガザ停戦スタンディング@岡山駅西口
- 7.28 ふくしまっ子保養@津山
- 7.29 県内調査(落合病院、東和薬品など)
- 8.1~3 自宅訪問@福島県川内村
- 8.5~8 県外調査
- 8.9 常任委員会、タウンプラス運搬
- 8.11 建部町納涼花火大会
- 8.12 宇甘東地区納涼まつり
- 8.14 ソーラーシェアリング見学@瀬戸内市、竹枝夏祭り
- 8.15 五城夏祭り
- 8.16 省エネ建築見学@ (株)SANKO
- 8.17 原田ケンスケお話し会@福渡
- 8.18 奉仕作業@竹枝小
- 8.19 レプリコソフクチンのお話@岡山県議会
- 8.20 常任委員会、「医学生ガザに行く」上映会
- 8.21 県内調査(国定農産)
- 8.23 常任委員会、PFAS問題オンライン研修会、まちづくり推進機構岡山総会
- 8.24 櫛の木少女少女合唱団、緑と水の道とろう流し@絵図町
- 8.25 建部町B&G海洋まつり、「死んだかいぞく」鑑賞
- 8.26 県政市政おはなし会@岡西公民館
- 8.27 特別委員会(教育再生・子ども応援)
- 8.28 動物愛護センター視察
- 8.31 子どもの居場所づくり交流会、「アランラブソデ」上映会

- 9.1 「原発を止めた裁判長」講演会@赤磐
- 9.2 みつカフェ、福武教育文化振興財団報告会
- 9.3 インターン学生と視察(成徳学校、総合教育センター)、青少年問題協議会
- 9.4 9月議会開会、文化祭@後楽館中
- 9.6 ももぞの学園訪問
- 9.7 ゴミ拾い@建部井堰、たんぼぼネットワーク定例会
- 9.8 未来国会審査会、市民のつどい、五百旗頭さんトークイベント @PLUG
- 9.10 代表質問
- 9.11 たけな部@老人福祉センター
- 9.12 ソーラーシェアリング見学@倉敷
- 9.15 強度行動障害支援の意見交換会 @総社、お月見会@河原邸
- 9.18 県立高校再編整備のお話 @横山弘毅さん
- 9.20 一般質問登壇(13~25)
- 9.21 竹枝小学校運動会
- 9.23 おかやま環境ミーティング
- 9.25 国民スポーツ大会社行式、おかやま彫刻展、特別支援教育の懇談会 特別委員会
- 9.26 竜墨書道会展、福武教育文化振興財団交流会
- 9.29 あったかファミリー公演
- 10.1 常任委員会、ハラスメント研修会、野球大会(県議会vs執行部)
- 10.4 9月議会閉会
- 10.5 岡山市移住下見ツアー@建部、原田ケンスケお話し会@吉備中央町
- 10.6 わっしょいわんさかRSKラジオ祭、再エネ合成燃料のお話

9月議会で取り上げたことから

誰もが安心して学べる学校に



県議会録画
中継はこちら
から



「いっぽ通信Plus!」
動画はこちら
YouTube

不登校対策について

Q. 県内で不登校の子どもは、2022年度には小中学校で3,668名であり、10年で約2倍に増えており、特に小学生は3倍近く増えている現状があります。県教委は今年4月不登校の総合対策をまとめ、「誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりに取り組みます」と掲げていますが、これを実現するためには、子どもたちが学校の何が辛くて登校できなくなっているのか、という子どもたちの実情に応じた対策を考えることが重要だと思います。

今年6月に不登校の親の会が実施されたアンケート調査からは、不登校の要因として、教員による強い叱責や高圧的な指導があっ

て恐怖を感じたという内容が多く見受けられ、また、長時間座ったまま板書ばかりの一斉授業や、絶対こうしなさいと押し付けられる指導に理不尽さを感じたり、一方通行の学びにワクワクできないという答えもありました。また、子どもの発達障がいなどについての回答も多く、大きな音に対する感覚過敏、こ



岡山御津高校内にできた「マイプレイス」は、不登校の中学生が楽しく先生と活動できます。

わりやイレギュラーに対する苦手さ、学習障害、コミュニケーションの苦手さ、心の敏感さなど、子どもが持っている特性から生じる困難さが、不登校の要因となっていることが窺えます。

これらをふまえ、「誰もが安心して学べる魅力ある学校づくり」のために、教員に対して

どのようなポイントを伝えているのでしょうか。

教育長 この調査結果については、県教委としても不登校の要因の一つと認識しており、今年度から新たな不登校対策に取り組み始めたところ。子どもを真ん中にした学校づくりを進める必要があると考えており、学びを子どもに委ね、自己決定の場を充実させることや、個々の特性や学習進度に応じた指導の個別化などを大切にしていけるよう、学校や市町村教委に伝えていきたい。

学校・教師に求められる役割

① 学校を、子どもたち誰もが通いたくなる魅力ある場所とします。

授業や学校行事、校則の在り方などを振り返り、これまでの教師主導の教育活動から、子どもを真ん中にした教育活動へ転換しましょう。

子ども 真ん中に!

「失敗を恐れず挑戦できる」場所

「新岡山県不登校総合対策」リーフレット(教員用)より

ソーラーシェアリングの見学

@瀬戸内市長船町西須恵(8月14日)

知 り合いのご家族が、太陽光発電パネルの下でイネを育てるソーラーシェアリングをされているということで、見学に伺いました。「営農型太陽光発電」とも呼ばれ、岡山県内でも徐々に増えていて、許可件数は138件(R6年5月現在)に増えています。太陽光パネルにより3割くらいの

光は遮られますが、残り7割の光でも十分育つ品種は意外に多く、イネの他にナスなども栽培され、順調に育っていました。耕作放棄地を再生させ、農業と再生可能エネルギーの両立に、熱心に取り組まれている様子に感銘を受けましたし、このような好事例が増えるよう、県の支援を求めていければと思います。

支柱のところだけを農地転用。設置費用は10~15年で回収できると言われ、収入面も期待できます。



おもな「活動記録」から

まんまリンク

@岡山県総合教育センター(9月4日)

不 登校の子どもをサポートするため、「まんまリンク」というオンラインで参加できる居場所を、今年度から総合教育センターが始めています。メタバース空

間の中でスタッフとチャットで会話したり、オセロなどのボードゲームを他の子と楽しむこともできるそうで、小中学生の登録数も増えているようでした。なかなか家からの外出が難しいお子さんも、オンラインであれば気軽に参加して、自分のペースにあわせて過ごすことができるため、「うちの子には合っているのよかったです」というお声もお聞きしました。関心のある方は、どうぞお問い合わせください。

岡山県総合教育センター
Tel:0866-56-9106



詳しくはこちら
から

「あなたのまんま」安心して過ごせるオンライン上居場所。体験も受付ています。

教育長 今年8月に学校教育法施行規則が改定され、不登校の児童生徒の成績評価について、学習内容や教員による把握や

関わりなどの要件を満たした上で、欠席中の学習を考慮できると規定された。市町村教委との会議や研修会などでしっかり周知していきたい。

Q. 県立高校の入学者選抜において、不登校であってもその子らしく学んできた努力や意欲が認められることが必要と思いますが、入学者選抜においてはどのように考え、対応していますか。

教育長 不登校であったことが不利にならないよう、高校生活への抱負や自身の長所を記入する自己申告書の提出ができる配慮

すべての生徒が輝く
新しい学校を始めます!

—今年7年度から岡山御津高校に導入—

岡山御津高校

みんなのがんばりが、いそいそと花を咲かせます!



詳しくはこちら
から

岡山御津高校では新しい入試制度を設け、他の県立高校からの転学も今年から出来ることになりました。

を行っており、各学校長は学力検査・面接等の結果に自己申告書の内容も加えて、総合的に判断している。

県営住宅について

Q. 県営住宅として現在使用されているのは、県内32カ所の6,820戸で、そのうち昭和61年以前に建てられた住宅では、今も浴槽やボイラーのない状態での貸し出しが続いています。入居の際には浴槽だけでなく、網戸やエアコンも自費で揃えなければならない上、退去の際にはそれらの撤去や修繕に多額の費用がかかることとなります。低額所得者のための住宅として、家賃は低廉に設定されているものの、入居時や退去時には費用がかかるため、浴槽やエアコンのない状態で生活されている方もおられます。公営住宅に浴室の設置が義務付けられて40年以上が経ちますが、未だに浴槽が設置されないままの運用であることには、大いに改善の余地があると感じます。浴槽なしで貸し出す状態の住戸の現状はどのようになっていますか。

土木部長 県が浴槽を設置していない住戸は3271戸で、昨年度募集したのは215戸で、



そのうち浴槽を設置していないのは109戸であった。

Q. 外壁が壊れた県営住宅の安全対策工事を優先しなければいけないことは分かりますが、浴槽設置費は家賃改定によって回収できる費用と捉えることができます。毎年募集する住戸のうち一定数に浴槽を設置していくことはできないでしょうか。

知事 安全対策工事を最優先で行う必要があるため、浴槽の設置については慎重に検討していく。

Q. 入居者が設置した網戸やエアコンは、退去時にまだ使える状態にあっても撤去しなければいけないという運用になっているため、見直す必要があるのでは。

土木部長 今年度から浴槽やボイラーは使用年数によって残してもいいことになった。網戸やエアコンについても、どのような条件なら残せるのか、検討していきたい。